

山形県立上山明新館高等学校 平成29年度 学校評価書

学校 教育 目標	(1) 心身ともに健康で、豊かな情操を持つ人間を育成する。
	(2) 真理を求め、責任を重んじ、社会の変化に対応してたくましく行動できる人間を育成する。
	(3) 創造力に富み、自ら考え、主体的に学ぶ意欲と豊かな知性を持つ人間を育成する。
	(4) 国際的な視野を持ち、郷土を愛し、社会に奉仕し貢献できる人間を育成する。

目指す 学校像	(1) 校訓「日々新たに、また日に新たなれ」のもと、学習活動と特別活動、地域連携ボランティア活動などから、主体的に行動できる「人間力」のある生徒を育てる。
	(2) 専門学科で学ぶ知識や体験、資格を活かして社会に貢献できる、意欲あふれる生徒を育てる。
	(3) 特別活動や地域活動に積極的に参加し、人と人のつながりを大切にする、たくましい生徒を育てる。

＜ 評価基準 A：達成 B：概ね達成 C：やや不十分 D：不十分 ＞

領域	重点目標	評価項目・具体的目標 (1～15)	H29評価	昨年度	次年度に向けた課題と改善策	学校関係者評価 (平成29年度)
生徒理解	①不適応生徒への対応の充実 ②面談及び教育相談活動の充実 ③教職員の生徒理解を図る研修の充実	1. 適宜、面談を実施。生徒理解に努める。 ・学校適応指導委員会の開催 年9回 ・教育相談事業の実施 年24回 ・教職員の研修会の実施 年1回	① B ② A ③ B	① B ② B ③ A	・計画的かつ組織的な面談活動の継続 ・適応指導委員会のあり方、役割の検討 ・職員間の学校不適応生徒情報の共有 ・発達障がいについての研修会の実施 ・特別な支援を要する生徒への手立て	・近隣住民の方からは、挨拶がよくなっている、登下校中の自転車の乗り方もよくなっていると聞いている。喜ばしいことである。今後とも、この傾向が続くようにしてほしい。
学習指導	①学ぶ意欲の向上 ②学習習慣・基礎学力の定着 ③指導法の研究・改善 ④学習センターの利用拡大	2. 出席率99%以上 3. 授業第一の考えの徹底と家庭学習時間の確保 ・生徒による授業評価と授業改善 ・家庭学習時間調査の実施 ・教科ごとに1人以上の研究授業の実施 ・クラス一斉読書、全校一斉読書の実施 ・1人年間3冊以上の図書貸し出し	① A ② C ③ B ④ B	① B ② C ③ C ④ C	・出席率の目標達成のための方策の検討 ・家庭学習の時間の目標の明示と家庭学習についての指導の工夫・徹底 ・他教科の研究授業や研修会等への積極的な参加により指導法の改善を図る ・本に親しむ指導の工夫 ・探究型学習の推進	・以前は、上山北中学校の生徒が高校に来てバイオテクノロジーの授業を受けるという交流があった。現在は途絶えているが、よいことと思うので検討してほしい。
生徒指導	①品行ある行動と規範意識の向上 ②いじめの防止、早期発見、いじめに対する組織的な措置 ③特別活動の充実と自治的能力の向上 ④部活動の更なる充実・発展 ⑤地域貢献活動への積極的参加	4. 校訓の理解と実践および挨拶の日常化 5. 規範意識の向上と問題行動の減少、いじめの絶無 6. 部活動の奨励 全国高校総体等団体1、個人5人以上 全国高校総体文祭等団体1、個人5人以上 7. 地域貢献活動・ボランティア活動の理解と積極的参加 ・交通マナー指導と交通街頭指導の実施 ・主体的な生徒会活動の活性化	① B ② B ③ B ④ B ⑤ B	① C ② B ③ C ④ B ⑤ B	・問題行動の未然防止といじめ防止のための情報共有と全職員での取組み ・公共マナーと交通ルール遵守の徹底 ・目標値達成に向けた部活動の奨励 ・地域貢献活動の継続と更なる推進 ・自主的・主体的な活動とリーダー育成	・今年度、国公立大への進学者が10名を上回ったことを高く評価したい。国公立大学への進学を増やすという方向性を維持し、センター試験を多く受験して十分な点数をとれるよう努めてほしい。
進路指導	①キャリア教育の推進 ②一人ひとりの進路実現 ③進路目標の早期設定 ④組織的・機能的な指導体制の確立	8. 「キャリア教育総合実践プログラム」の実施 9. 国公立4年制大学10名以上、私立大学60名以上合格 10. 看護・医療系専門学校30名以上、公務員10名以上 11. 就職内定率100% ・「進路の手引き」の活用、ガイダンスの充実 ・小論文研究会の参加と情報共有及び効果的指導の実践	① B ② A ③ B ④ B	① B ② C ③ B ④ B	・キャリア教育総合実践プログラムの見直し ・インターンシップの継続 ・今年度は国公立4年制大学11名合格 ・更なる挑戦と指導法の研究 ・職員対象小論文研究会と生徒対象小論文講座の継続実施	・ボランティア活動に積極的であることを評価したい。市内の各施設からも感謝の言葉を聞いている。できれば、除雪のボランティアにも目を向けてほしい。
信頼される学校づくり	①PTA活動を通した保護者との連携 ②外部評価の実施と活用・公開 ③情報発信による開かれた学校 ④体罰の絶無 ⑤地域関連学習の促進 ⑥積極的な研修と資質向上	12. PTA総会、PTA学年部会出席率60%以上 13. PST (保護者・生徒・教員) 座談会の実施 ・学校評価アンケートの実施 14. 学校HPの毎月更新 「明新館通信」や学年通信の発行 15. 魅力ある学校づくり 中学生体験入学の実施 ・地域関係機関や農家と連携した研究 ・「研修集録」の発行	① B ② B ③ B ④ A ⑤ A ⑥ B	① B ② B ③ A ④ A ⑤ A ⑥ B	・60%を超えたPTA総会参加率の維持と各種PTA活動の充実 ・学校評価アンケートの有効活用 ・学級通信、学年通信、明新館通信他印刷物による保護者と地域へ情報発信 ・ボランティア活動、探究型学習を通じた魅力ある学校づくりの推進 ・学校HPの内容・活用法等の改善	・教室内で学習だけではなく、体験学習や地域学習に力を入れていることを評価したい。そうした学習の成果が実際に町の中に反映されていくことを今後期待している。

アンケート評価 (回答の選択肢 a:よくあてはまる b:ややあてはまる c:あまりあてはまらない d:まったくあてはまらない e:わからない)

※以下の分析・把握では、「a」「b」を「肯定的評価」としている。

生徒	19項目中15項目で、高評価(肯定的評価が80%以上)であった。「本校に通うことは意義がある」で肯定的評価が91.7%、「学科・コース・科目選択に満足している」で91.4%と、ともに高評価となっており、生徒は概ね本校での学校生活を肯定的に捉えていることがわかる。「いじめ防止の指導」については85.2%が肯定的に評価しており、昨年度(肯定的評価が79.2%)よりも数値が向上している。引き続き、きめ細かな指導を地道に継続していく。「わからないことがあるとよく質問に行く」の肯定的評価が39.5%と低く、学習への主体性を引き出し、養っていく必要がある。
保護者	21項目中17項目で、高評価(肯定的評価が80%以上)であった。本校の教育活動全般について、概ね合格点をいただいたと受けとめている。「本校に通うことは子どもの将来にとって意義がある」の肯定的評価が95.1%、「子どもの学科、コース、科目選択に満足している」の肯定的評価が90.5%であり、ともに高評価であった。「いじめ防止の指導」の項目では88.7%、「体罰を行っていない」の項目では95.9%が、肯定的評価であった。この二つの項目については、肯定的評価の数値が100%となるように努める。
教職員	28項目中20項目で、高評価(肯定的評価が80%以上)であった。教育活動全般において、教員が高い意識をもち、丁寧で熱心な指導を行っていることのと表れと捉えることができる。「生徒や保護者に誠意をもって接している」「いじめ防止のために丁寧な指導を行っている」「体罰を行っていない」は、定的評価が100%であった。今後も、この数値を維持したい。「授業研究に励む環境が整っている」は、肯定的評価が51.1%であり、環境の整備に努める必要がある。